

## 令和5年度第3回三重県脱炭素社会推進会議概要

- 1 開催日時：令和6年1月31日（水）14:25～14:35
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題1 三重県地球温暖化対策総合計画推進委員会委員からの意見について

#### ●窪田地球温暖化対策課長（資料1に基づき説明）

- ・令和5年9月13日開催の令和5年度三重県地球温暖化対策総合計画推進委員会において委員より、「三重県の取組がどの程度進んでいるか、国や他県と比較して評価できるように示してほしい」、「温暖化対策については次世代を担う若者への情報発信が重要であり、効果的な情報発信をしてほしい」、三重県庁の取組として「温室効果ガス排出量を大幅に削減できた部署の取組について他部局に水平展開されたい」といった意見をいただいた。

### 議題2 各部局等の令和4年度LED照明設置実績及び電動車導入実績について

#### ●窪田地球温暖化対策課長（資料2に基づき説明）

- ・令和4年度末のLED照明化率は、全体で41.0%、部局単位では警察本部が98.0%、観光部が66.9%、農林水産部が56.9%、子ども・福祉部が54.5%と高い達成率を示している。
- ・令和4年度末の公用車の電動車化率は、全体で10.6%、部局単位では政策企画部が100%、環境生活部が37.9%、総務部が30.2%と高い達成率を示している。
- ・LEDに関しては、2030年度までに既設設備を含めた県有施設全体への導入をめざしているため、計画的な導入を進めていただきたい。公用車に関しても、代替可能が電動車がない場合を除き、新規導入・更新については原則電動車としているため、計画的な導入を進めていただきたい。

### 議題3 各部局等の令和5年度取組状況及び令和6年度取組予定について

#### ●窪田地球温暖化対策課長（資料3、4に基づき説明）

- ・令和5年度取組として、多くの部局で公用車の電動化、LED照明化が進められている。先進的な取組としては、子ども・福祉部において電気自動車8台が導入されたほか、地域連携・交通部において電気自動車を3台導入し、その電源を太陽光発電設備から供給するゼロカーボンドライブの導入、PPAモデルによる135kWの太陽光発電設備の設置が進められている。
- ・令和6年度取組についても、多くの部局で公用車の電動化、LED照明化が進められる予定であり、地域連携・交通部において電気自動車及び太陽光発電設備の導入、子ども・福祉部において電気自動車の導入、環境生活部において電気自動車、太陽光発電設備及びソーラーカーポートの導入、警察本部において建築物の建替をZEB oriented相当とすることが予定されている。
- ・引き続き、県域からの温室効果ガス排出量47%削減、事務事業からの温室効果ガス排出量52%削減に向けて、各部局で取組を進めていただきたい。

#### ☆質疑（一見知事）

- ・率先して導入している電動車とは電気自動車のことか。災害時にエンジンで充電可能なプラグインハイブリッド車の導入は進めないのか。

#### ●窪田地球温暖化対策課長

- ・温室効果ガス排出量削減に効果的な車両は電気自動車である。なお、環境生活部ではプラグインハイブリッド車の導入も進めており、災害時にも活用いただけるよう防災対策部と調整している。

#### ●柘屋環境共生局長

- ・最後に知事から一言お願いします。

☆一見知事

- ・ 報告のとおり、現状は少し計画より遅れている状況である。
- ・ 2030年度目標の達成に向け、各部局長においては各部局内の取組状況を確認し、後年度に迷惑がかからないよう取り組んでいただきたい。